

東海大学 芹川洋一先生  
2019年度 日本記者クラブ賞受賞記念講演会

# 平成の政治を振り返って

## その時、永田町で何が起きていたのか。

日本経済新聞論説フェロー 芹川洋一先生

1950年4月22日、熊本県生まれ。69歳。東京大学法学部卒、東大新聞研究所修了。76年、日本経済新聞入社。政治部長、大阪本社編集局長、論説委員長、論説主幹などを経て2018年から論説フェロー。東海大学政治経済学部政治学科において、「政治とメディア」「政治学特講A」をご担当いただいている。

御厨貴氏との編著『平成の政治』、単著『平成政権史』（いずれも日本経済新聞出版社）の2冊は、尾崎行雄記念財団主催「罎堂ブックオブザイヤー2018」の総合部門・メディア部門でそれぞれ大賞を受け、異例のダブル受賞となった。

そして本年、ジャーナリストの最高栄誉 日本記者クラブ賞を受賞。40年にわたり一貫して日本政治をウオッチし記者生活の大半を政治報道に携わってきた。絶妙な距離感とバランス感覚に裏打ちされた解説は、分かりやすくて確で鋭い。アカデミズムと連携した多数の著書では、ジャーナリズムの在り方やメディアと政治の関わりを捉えなおそうと試みるほか、テレビキャスターも務めるなど、活動の幅は広い。

—日本記者クラブ報道資料より—

日時：2019年6月4日（火） 17:20～18:50  
場所：東海大学湘南キャンパス 松前記念講堂  
※どなたでもご参加いただけます。

お問い合わせ：東海大学大学運営本部戦略プロジェクト室  
電話：Tel: 0463-58-1211 内2246